第2回 那須塩原駅周辺まちづくり協議体 会議要旨

〇場所 那須塩原市役所西那須野支所301~303会議室

〇出席者 協議体メンバー 21名(オンライン2名)

オブザーバー 10名 (オンライン2名)

〇次第 1.開会

2.共有事項

(1) まちづくり協議体に関するスケジュールについて

(2) 計画Nチームについて

3.内容

(1) これまでの経過と協議体方針について

(2) グループワークについて

(3) 今後の進め方とスケジュールについて

4.閉会

〇配布資料 次第

【資料1】那須塩原駅周辺まちづくり協議体名簿

【資料2】第2回那須塩原駅周辺まちづくり協議体内容資料一式

【参考資料】第1回まちづくり協議体要旨

○協議体当日の様子



事務局による説明



グループワーク



グループワーク



グループワーク発表

〇会議要旨

- 1. 開会
- **2. 共有事項**(進行:吉成座長)

資料2に基づき以下2点について事務局より説明を行った。

- (1) まちづくり協議体に関するスケジュールについて
- (2) 計画Nチームについて
- 3. 内容(進行:吉成座長)
 - (1) これまでの経過と協議体方針について

第1回協議体で出た意見を踏まえて作成した6つのアジェンダ及び3つの協議体ビジョンについて資料2に基づき事務局より説明を行った後、質疑応答を行った。

<質疑応答での意見>

- 那須塩原駅周辺での有効活用できる土地がどこなのか明示してほしい。
- 景観形成を進めていくうえで、現在の那須塩原の規制では強制力がないのではない か。景観に合わない看板などは市民からの意見がない限りは撤去されない現状が課 題ではないか。

(2) グループワークについて

資料2に基づき事務局より説明を行った後、駅周辺の平面図を囲みA~D、WEB班に分かれ、4つのエリアを対象に拠点施設の在り方について議論を行った。 別紙にて主な意見を抜粋したものを掲載している。

(3) 今後の進め方とスケジュールについて

個別検討組織としてWGの設置(協議体メンバーによる自主参加)、駅周辺まちづくりにおけるプロモーションの方向性、実証実験について、事務局から資料2に基づき説明を行った。

その後、質疑応答・意見交換を行った。

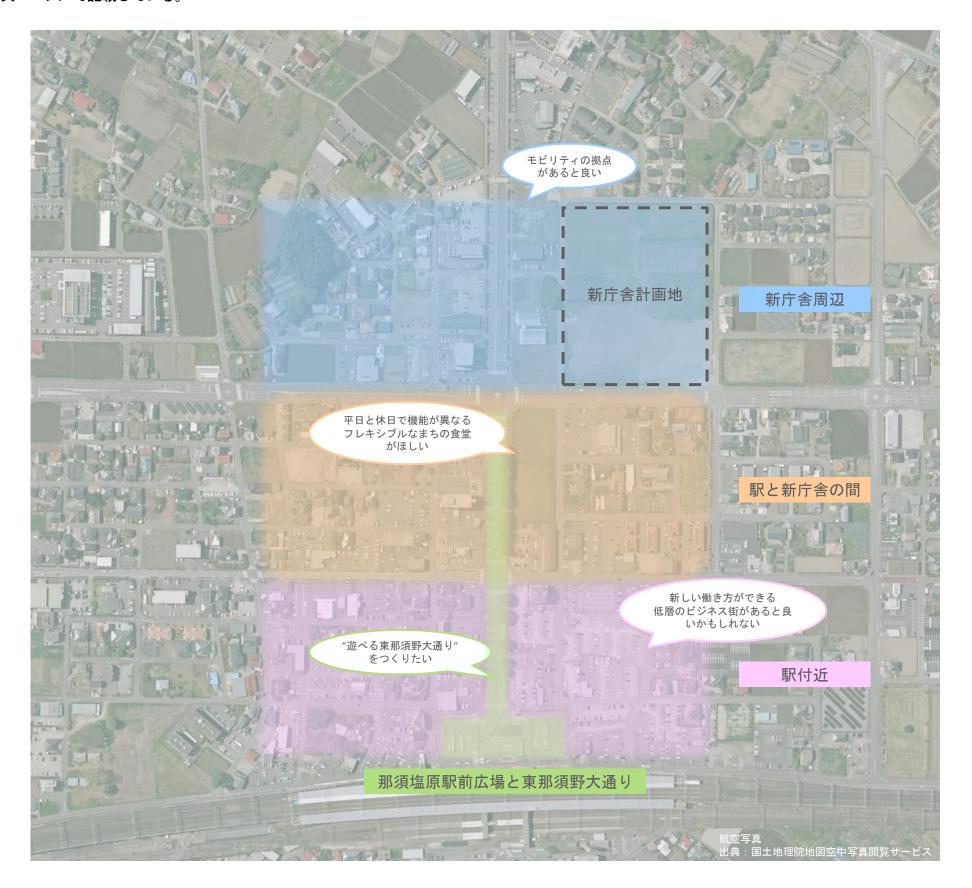
<質疑応答での意見>

● 11月2日の実証実験ではゆーバス、ゆータクも無料で利用できるように検討して欲しい。

4. 閉会

文責:那須塩原駅周辺整備室

那須塩原駅周辺における以下の4つのエリアを対象に広場や拠点施設の在り方について議論を行った。 主な意見の抜粋は次ページにて記載している。



第2回那須塩原駅周辺まちづくり協議体会議要旨

	全域に関する内容について	那須塩原駅前広場と東那須野大通りについて	拠点施設について 駅付近 駅と新庁舎の間 新庁舎周辺		
A班 つながり・はじまる! やりたいことが実現できる駅前	 アクティビティファーストで様々な活動が"ここからはじまる"駅前の創出 タクシーの運用を工夫するなど人が来てくれる交通サービスの確立 駅と各エリアがどうつながるか具体的な提案が必要 市全域を対象としたバス路線の再編 多世代が関わる仕組みづくり "地域の役に立てる"が実感できる体制・場所づくり 	・駅前広場にはモビリティステーション	 単なる観光施設や食堂ではない拠点づくり 市民が得意なことを披露できる場所をつくる まちの顔となる場所 一駅前に様々な地域の人を再度振り向かせるための魅力的な場をつくる 一駅前に関心を持つ・また来たくなるラボのような場を運営する 東那須野大通り沿道の拠点施設 一学校帰りに立ち寄れる子どもの居場所や子育て施設 ーレンタルキッチンと日替わりレストラン 一地産地消を体現できるマルシェ 		
B班 Challenge NASU!	・駅から新庁舎前の市道までの一体な計画 ・東那須野大通り沿道の民地と市有地(公園)を換地し、より広 大な広場化を目指してはどうか ・面的な整備計画の必要性	・"遊べる東那須野大通り"をつくる 一市内のすべての牧場の牛乳が飲める 一疏水レースの開催 一毎週イベントが行われる ーナイトマルシェを行う	 市民,企業,学生が交流できる拠点 一駅とつながりを持たせた計画を行う 一自習室がある場所があると良い 地元の企業が出店できるチャレンジショップ 一学生も立ち寄れる場所 ・疏水を見える形にする 		
〇班 『時間』『人』に合わせて 空間が変化する駅前	街として生活空間が少ないという課題がある那須疏水があるのに活用されていない現状がある	・那須塩原の入口としてふさわしい駅前広場 ・ワークができる芝生広場 ・朝ごはんを買いに寄ることができる場所 ・帰り際に寄ることができる場所 ・東那須野大通りで那須疏水の活用	 『みんなって?』フレキシブル食堂 市役所に来る人をターゲットとした、平日と休日で機能が異なる施設 那須塩原における特産品の魅力を発信するマルシェ 自習・ワークスペース(Wi-Fi、電源完備) ママ向けシェアオフィス ・モビリティの拠点 那須塩原の魅力あるスポットへ行くための拠点 		
D班 水・緑・子どもの笑顔が はじけるまち	・イオンモールくらいまでは頑張れば駅から歩ける印象がある ・東口を含めた交通計画の再編が必要 ・バスの本数を増やせば利用者は増えるのではないか ・東那須野大通りの車線を減少させるなら、周辺の交通計画も含 めて考える必要がある	 ・市役所側に何か目的地があれば歩く ・夜は明るくして安心して歩けることが大切 ・東那須野大通りで那須疏水の活用 一水の流れがあると歩いて楽しい ・子供たちが遊べてファミリーで過ごせる公園をつくる ーヤギの放牧など ・駅前に緑と川があるロケーション 	 ビジュアル的に"映える"スポット 山と緑の低層ビジネス街 新しい働き方ができる場所 障害をもつ方もかっこよく働ける場所 東那須野大通り沿道の拠点施設 子どもの居場所 チャレンジショップ 直売所 		
WEB班 那須らしい駅前	・"歩ける駅前"を実現させる ・バラバラと駐車場ができないように集約した駐車場の整備が必要		 ・日中に滞在できる拠点 一話ができて、リモートワークもできる 一時利用できるレンタルスペース(15~30人規模) 一新幹線待ちの人が待つ場所 ・ハブや目的地になる拠点施設 統一感のあるお店があると良い(自然を感じられる、外で食事ができるなど) ーシェアサイクルやバイクを完備 ーマルシェの出店 		



第2回那須塩原駅周辺まちづくり協議体会議要旨

	#01	#02	#03	#04	#05	#06
	駅周辺の交通網を どう考えるか?	駅周辺の空間・土地利用をどう考えるか?	駅周辺の拠点施設、ランド マークをどう考えるか?	駅周辺の魅力、コンテンツ をどう考えるか?	駅周辺まちづくりの 仕組みをどう考えるか?	駅周辺の景観形成、 景観維持をどう考えるか?
A班 つながり・はじまる! やりたいことが実現できる駅前	・タクシーの運用を工夫するなど人が来てくれる交通サービスの確立 ・市全域を対象としたバス路線の再編 ・次世代交通を含めたモビリティステーションの検討		・単なる観光施設や食堂ではない拠点づくり ・住民と来訪者、双方にとって 魅力的な拠点づくり ・子どもの居場所と子育て施設	・地産地消が実現できる ・子どもにも親にも優しいまち	・多世代が関わる仕組みづくり ・"地域の役に立てる"が実感で きる体制づくり	
B班 Challenge NASU!		・"遊べる東那須野大通り"をつくる ・駅から新庁舎前の市道まで一体な計画が必要 ・東那須野大通り沿いに学生が立ち寄れる場所を配置する ・駅前に日中でも人が滞在する施設をつくる ・民地と市有地(公園)の換地などを含む面的な整備計画が必	・地元の企業が出店できる拠点 ・市民・企業・学生が交流でき る拠点	・那須疏水の活用 ・駅前で地元企業を応援する		
C班 『時間』『人』に合わせて 空間が変化する駅前	那須塩原の魅力スポットへ行くためのモビリティの拠点づくり	・市役所付近に市役所に来る人をターゲットとした施設を配置する ・街に生活空間が増えるような土地利用計画	朝から夜まで様々な人が立ち 寄れて滞在できる拠点子育てする人にやさしい施設平日と休日で機能が異なるフレキシブルな施設	・那須疏水の活用 ・那須塩原の特産品の魅力発信		
D班 水・緑・子どもの笑顔が はじけるまち	・歩いて過ごせるまちづくり ・東那須野大通りの車線減少を 実現するための東口を含めた 交通計画の検討 ・バス路線の再検討により公共 交通利用を促す	・東那須野大通りを子供たちが 遊べてファミリーで過ごせる 公園にする ・駅前に緑と川があるようなロケーションを創出する ・市役所付近に目的地となる施設を設ける ・夜も安心して歩ける東那須野 大通り沿いの土地利用	チャレンジショップや直売所など那須塩原ならではのものを販売できる小さなお店を集積させる	・那須疏水の活用・新しい働き方の実現・障害を持つ方もかっこよく働けるまち		・那須塩原ならではの眺望を考 慮して拠点施設は低層で整備 する
WEB班 那須らしい駅前	・"歩ける駅前"の実現 ・点在している駐車場を整理す るため、集約した駐車場を整 備		・レンタルスペースやリモートワークなどにも使える日中滞在できる拠点・ハブや目的地になる拠点施設・シェアサイクル(バイク)を完備する	・"新幹線待ち"の状況をいかす ・那須塩原の自然が感じられ、 外で食事ができる		